



SHANGRI-LA

HOTELS and RESORTS

シャングリ・ラ ホテル トロント カナダ最大の都市にいよいよオープン

2012年10月



2012年10月、シャングリ・ラ ホテル トロントが、カナダオンタリオ州最大の都市、トロントの中央通りといえるユニバーシティ・アベニューにオープンいたしました。

「シャングリ・ラ ホテルズ&リゾーツは、世界中に展開し続けるグループ最新のホテル、北米で2つ目となるこのホテルにお客様をお迎えできることを誇りに思います。シャングリ・ラ ホテル トロントは、成長が著しいこの国際都市のダウンタウン中心部にて、トロント在住のお客様も、海外からご旅行のお客様も、当グループの真髄である心からのホスピタリティでお迎えいたします。」と、シャングリ・ラ インターナショナル ホテル マネジメント リミテッドの代表取締役兼CEOのグレッグ・ドーガンは語ります。

シャングリ・ラ ホテル トロントは、新しくできた市のランドマークである66階建の高層タワーの低層部17フロアを占めています。市内のビジネスゾーンとエンターテインメントが揃うこのダウンタウンは、ゲストの皆様にたいへん便利な立地です。202室のこのホテルは、カナダのオペラやバレエのパフォーマンス・センター、カナダの5大銀行本店、領事館、世界有数の総合病院、スポーツ競技場、演劇場の並ぶシアター地区、TIFF（トロント国際映画祭）事務局など全てがホテルから半径5ブロック以内にあります。

ユニバーシティ側の入口には、中国で最も影響力のあるコンテンポラリー・アーティスト、張洄の作品、手作業によるステンレススチールの彫刻「ライジング」が地面からガラスのタワーを上り、ホテルの2階建てのロビーへとつながります。

外観と同じように、内装も建築とアートを強調した美しい作りです。1階のストリートから入るロビーには、「ライジング」の鳥たちが見える2階部分の窓から自然光が差し込む90席のラウンジがあります。ラウンジには有名な北京オペラの女性を描いた4つの大きな水墨画や、職人の手で作られている明るいオーク材のイタリア・ファジオリ社のピアノ（蓋部分にはカナダのアーティスト、ジョニー・ミッチェルの曲「マイ・オールド・マン」の歌詞が彫られています）、そして紫に近い灰色のレザーを使用したモダンな家具が並び、目を引きまします。



ロビーラウンジでは、東南アジアの屋台料理にインスパイアされたオールデイメニューや、68種も揃う世界選りすぐりのお茶、さらにメニュー5冊にわたり紹介されているアペリティフ（食前酒）、カクテル、ワイン、ビール、スコッチ、スピリッツ、フォーティファイドワイン等をお楽しみいただけます。

綿密に計画されたデザインにより、ゲストはロビーからザ・バーへと自然に流れるように

たどり着きます。この30席のバーは、ホテルのシグネチャー・レストラン「ボスク」の前にあります。「ボスク」は、インターナショナルなメニューにアジアのタッチを加えた料理が自慢です。ザ・バーの頭上には、さまざまな色合いの緑色の180もの手吹きガラスの飾りが下がっています。右側にはオーク材で店名のBoskと、小さな茂みというボスクの意味も一緒に彫られています。80席のレストランの中には、30名まで収容可能な個室や、四季を感じられるアウトドアテラス席も設けられています。

そしてホテルのロビーの奥から202室のゲストルームとスイートにお進みいただけます。それぞれ45平方メートルから205平方メートルまでさまざまな広さが用意されています。エレベーターを降りれば、生糸で覆われた壁やアジア風サイドボード、さらに中国皇帝の王座のレプリカが置かれています。足元には深い濃紫色、チョコレートブラウン、トープ（茶色がかった灰色）に濃いオレンジ色が少し混ざる色合いのカーペットが敷かれており、山岳地帯や竹林のモチーフ等のイメージを彷彿とさせます。そして廊下にはガラスケースに収納されたアジアの人形や花瓶、陶器等が飾られています。

ゲストルームではさりげないデザインの中、素材や装飾品がこだわりを見せます。マホガニーの一種である濃い色のベニアが壁を飾り、アースカラーを用いた家具や調度品等とのコントラストが目を引きます。さらに床から天井までの大きなガラス窓から部屋内には自然光があふれます。まるで自宅にいるように揃う家具や調度品、アメニティーはデザインも機能的で、デスクトップにあるプラグを使用すればITの世界へも簡単に、すぐに入ることができます。ベッドルームは特注のピロートップ・マットレス、遮光カーテン、そして柔らかく、落ち着くシャンパンカラーの布地が使われています。白地に黒い模様の大理石を使用した広々としたバスルームは平均約14平方メートルあり、レインシャワーヘッドのついたウォークインシャワーはジャグジー型タブとは別にあります。バスルームの鏡には液晶テレビがうめこまれており、その下には大理石の天板がポイントのアジア風テーブルが置いてあります。

それぞれの部屋には47インチの液晶テレビがあり、さらにゲストがいつでもルームサービス、ハウスキーピング、ベルサービス、24時間利用可能なコンシェルジュにアクセスできるICEテクノロジーが導入された室内で利用するiPadが備え付けられています。



SHANGRI-LA

HOTELS and RESORTS



9つのゲストルームにはプライベートテラスがついており、また客室の1/4は他の部屋よりも広いスイートルームになります。スイートルームの広さは、トロントのダウンタウンでも最大クラスです。

49室のスイートには、59平方メートルから102平方メートルを誇る最高クラスのオーナーズ・スイート、さらに205平方メートルのシャングリ・ラスイートまで、5つの特別スイートを含みます。オーナーズ・スイートは木製のパネルを用いた図書館風の入り口がある少し暗くてドラマティックな部屋です。一方、シャングリ・ラスイートはオープンで明るく、日本の障子、オーク・ウッドのモールディング（縁）、錫色の大理石等を部屋に用いています。またシャングリ・ラスイートにはプライベート・バトラー専用出入口のついたパントリー（食糧庫）もついています。

会議やウェディング、パーティー等にふさわしい9つのミーティングルームは3階にあり、市内でも有数のファンクショナルルームとなるでしょう。フロアは様々な色、素材、生地にあふれ、黒地に赤い模様の大大理石は白いオーク材の木工製品と合わせられ、クリスタルのシャンデリアの下にはレザーのソファが置かれています。4つに分けられたエリアで1,359平方メートルに広がるイベントスペースは、一つの大型の宴会場としてもご利用いただけます。トロントの様々な場所にちなんで名がつけられたイベントルームには、大きなワイン色のレザーの椅子が置かれた42席の上映室や、13個ものクリスタルシャンデリアがいろいろな高さに飾られた2階建てのガラス張りの部屋もあります。いちばん大きなクイーンズ・パークは341平方メートルの広い空間を提供し、天井から吹き出す空気の壁で2つに分けることも可能です。頭上には39のクリスタルシャンデリアが下がり、回転扉からはガラスの壁とユニバーシティ通りを見下ろす屋外のガーデンテラスを望むことができますが、このテラスを用いさらに広くボールルームを使用することも可能です。

5階にあるのは828平方メートルのヘルスクラブです。窓のないプライベートスタジオや、天井から床まで大きな窓があり、自然の光に加え市街地の眺め及びトロントの有名なCNタワーを望むことができるオープンコンセプトルームがあります。施設の北側を占めるのは、キャンドルに灯された別の空間で、ここには流れる水の柱やシャンデリアがあり、海水を利用した20メートルの競泳用プールがあります。

パリにあるコーダリーが独自に経営するミラジ ハمام スパも同じく5階にあり、9つのトリートメント・スイートのうち2つはカップル用のスイート、さらに2つのハمام・ルームを備えています。ホテルが入る建物は居住部分もあり、他にもトロントで最も古い建物のひとつである歴史的な赤レンガのビショップズ・ブロックを復元した場所、そして有名なニューヨークのシェフ、デビッド・チャンが経営するレストランとバーも入ります。

シャングリ・ラ ホテル、トロントは2009年にカナダ西海岸のバンクーバーにできたシャングリ・ラに続くホテルとなり、シャングリ・ラの名高い、アジアの優雅なホスピタリティとサービスをトロントにご紹介します。

P R E S S R E L E A S E



日本でのお問い合わせ、ご予約は、
シャングリ・ラ ワールドワイド リザーベーションセンター 0120 944 162 までどうぞ。

シャングリ・ラ ホテルズ&リゾーツ

香港を拠点とするシャングリ・ラ ホテルズ&リゾーツは、「シャングリ・ラ」「ケリー」および「トレーダース」のブランド名で現在72のホテルを世界で運営し、総客室数30,000以上を有する、世界有数のホテルグループです。40年に渡り当グループでは、「シャングリ・ラ ホスピタリティは人を思う心から」の精神をもってお客様をおもてなししてきました。現在当グループは、カナダ、中国、インド、マレーシア、フィリピン、モンゴル、カタール、スリランカ、トルコ、イギリスでプロジェクトが進行中です。

ご予約やご質問等は各旅行代理店、または www.shangri-la.com までお問い合わせください。

このリリースに関するお問い合わせ、資料請求は、
シャングリ・ラ ホテル&リゾーツPR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。
Tel : 03-3403-5328 / Fax : 03-3403-5329 / e-mail : info@kentosnetwork.co.jp
Web : www.kentosnetwork.co.jp / Blog : www.kentosnetwork.co.jp/blog

twitter.com/LUXE_TRAVEL

